

# **FM/AMカセット カーステレオ**

---

## **取扱説明書**

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない  
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## **XR-1500**



# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

### 警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### △ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

#### △ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

#### 注意を促す記号



火災



感電

#### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

準備

△警告・△注意 ..... 4

## ▶ 準備

カセットテープの取り扱い ..... 6

時計を合わせる ..... 7

放送局を自動で登録する ..... 8

各部のなまえ ..... 9

使  
こ  
え  
だ  
ま  
け  
す  
読  
ん  
で  
も

## ▶ ここだけ読んでも使えます

テープを聞く ..... 10

ラジオを聞く ..... 12

ラ  
ジ  
オ

## ▶ ラジオ

特定の放送局を登録する ..... 14

そ  
の  
他  
の  
操  
作

## ▶ その他の操作

音質や音のバランスを調節する ..... 15

重低音を強調する ..... 16

## 付録

使用上のご注意 ..... 17

故障かな? ..... 18

保証書とアフターサービス ..... 19

主な仕様 ..... 20

索引 ..... 21

付  
録

# 警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・  
感電により死亡や大けがの  
原因となります。

## 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



## 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



## 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



## 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。





下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に  
**損害**を与えることがあります。

---

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



# カセットテープの取り扱い

## カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよくない、音が出ないというようなことがおこります。50時間を目安に、別売りのソニークリーニングカセットC-1KDまたは市販の乾式クリーニングカセットを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

## 良い音で聞くために

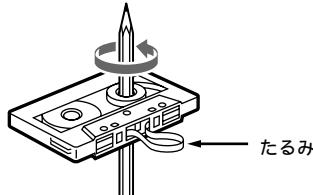
カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



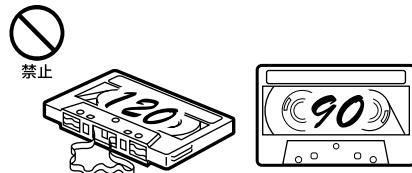
## カセットについて

- テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- 古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。

- 次の場所には絶対に置かないでください。
  - 直射日光が当たるところなど高温の場所（特に夏季）
  - 湿度の高いところ
- テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



- 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。

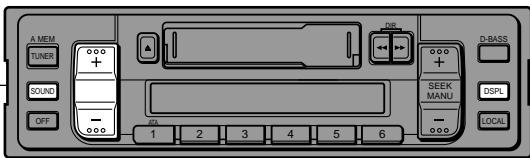


- 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

# はじめに

本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。

## 時計を合わせる



1 車のイグニッションキーをONにする。

2 カセットテープまたはラジオをONにする。

3 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。

DSPL

① +/- ボタンで「時」を合わせる。

( 時計は12時間表示 )



10:30

②「時」を合わせたら、SOUNDボタンを押す。

SOUND

10:30

③ +/- ボタンで「分」を合わせる。



10:30

DSPL

4 DSPLボタンを押す。

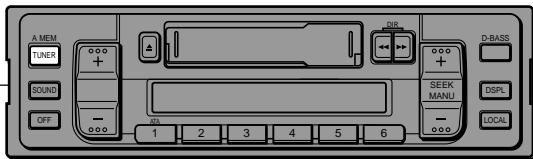
10:30

時計がスタートします。

ご注意

OFFのときは時計が表示されません。

# 放送局を自動で登録する



受信できる放送局を数字の1~6ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。テレビ放送(1~3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



**1** TUNER/A MEMボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。



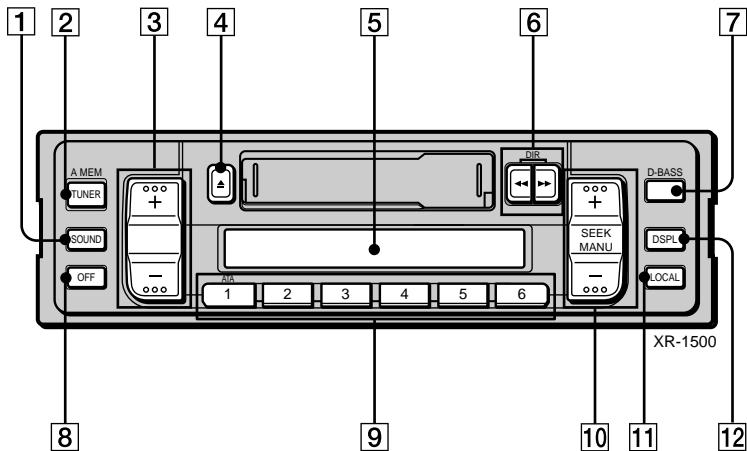
**2** TUNER/A MEMボタンを2秒以上押す。  
選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

# 各部のなまえ

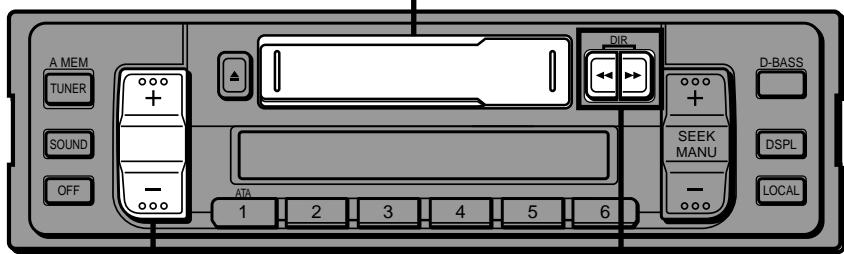
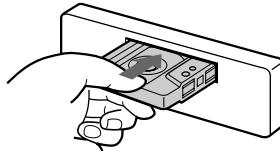
内のページにくわしい説明があります。



- ① SOUND(音質調整)ボタン ⑦⑮  
チューナー/オートメモリー
- ② TUNER/A MEM(ラジオ受信/ラジオ選局)ボタン ⑧⑫⑯  
選局)ボタン ⑧⑫⑯
- ③ +/-(音量調節)ボタン ⑦⑩⑯  
イジェクト
- ④ ▲(テープ取り出し)ボタン ⑪
- ⑤ 表示窓
- ⑥ ◀◀/▶▶/DIR(巻き戻し/早送り/テープ再生面切り換え)ボタン ⑩⑪  
ダイナミックベース
- ⑦ D-BASS(重低音調節)ボタン ⑯  
オフ
- ⑧ OFF(電源切り)ボタン ⑬
- ⑨ 数字ボタン1~6  
ラジオ ⑫⑯  
シーケンシャル
- ⑩ SEEK/MANU(ラジオ選局)ボタン ⑬⑯  
ローカル
- ⑪ LOCALボタン ⑯  
ディスプレイ
- ⑫ DSPL(表示切り換え)ボタン ⑦⑪⑯

# テープを聞く

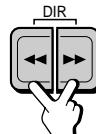
テープを入れると再生が  
始まります



音量を調節する

テープの面を切り換える

(◀◀/▶▶/DIRボタン)



再生中に押すと、テープの再生面が  
切り換わります。

上面を再生

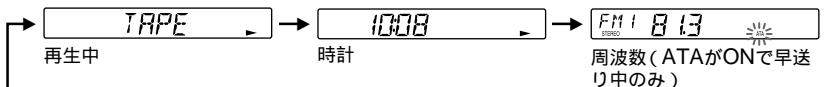


下面を再生

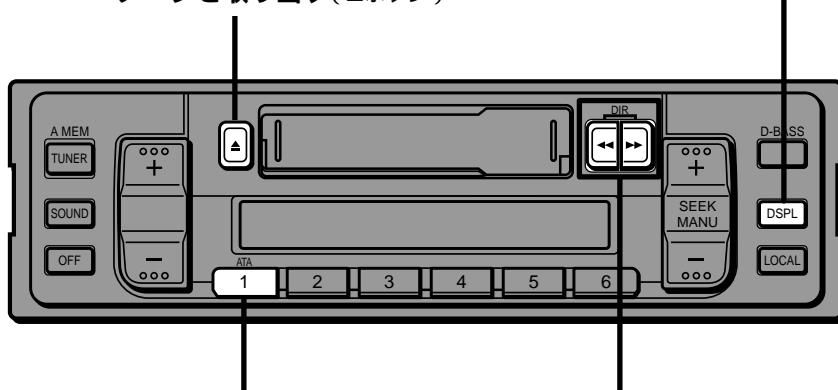


### 表示窓の見かた (DSPLボタン)

DSPL ディスプレイ  
再生中に押して表示を切り替えます。



### テープを取り出す (▲ボタン)



### 早巻き中に自動的にラジオに切り換える

テープ再生中に数字ボタン1を押して「ATA」を表示させる。

設定を解除するにはもう一度ボタンを押します。

### 巻き戻し・早送りをする

(◀◀/▶▶/DIRボタン)

ボタン/表示 ◀◀ ▶▶

▶▶ボタン 巻き戻し 早送り

◀◀ボタン 早送り 巻き戻し

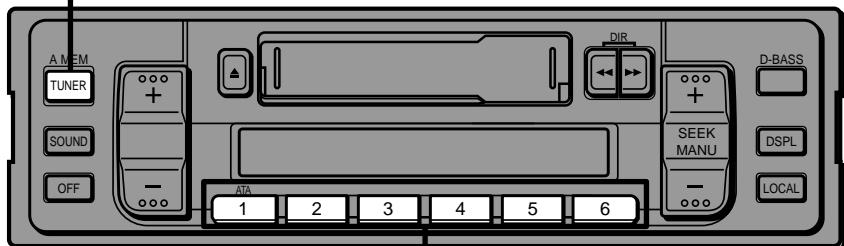
途中で再生を始めるには、  
もう一度◀◀/▶▶/DIRボタンを  
押します。

# ラジオを聞く

## 1 聞きたいバンドに切り換える



押すたびに  
FM1 → FM2 → AMと切り換わ  
ります。



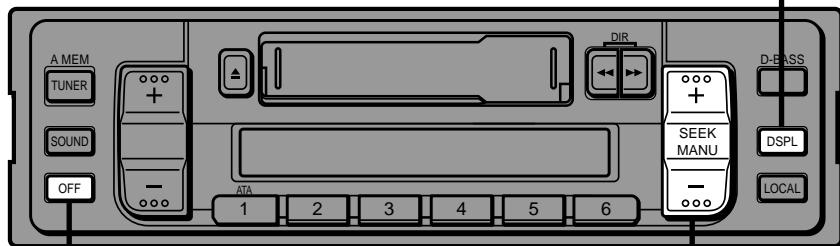
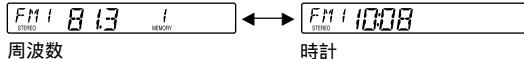
## 2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、8、14ページをご覧ください。

**表示窓の見かた (DSPLボタン)**

DSPL ディスプレイ 受信中に押して表示を切り替えます。



電源を切る  
(OFFボタン)

ステレオ放送を受信すると  
「STEREO」と表示されます。

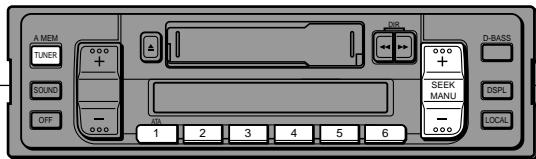
**旅先などで、登録した放送局が受からないとき(自動選局を使う)**



SEEK/MANUボタンを押して離します。  
自動的に放送局を探し始め、受信すると  
止まります。聞きたい放送局が受かるま  
で、ボタンを押します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局  
の周波数になるまでSEEK/MANUボタンを押し続  
けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、  
LOCALボタンを押して、“LCL”を表示させ、ロー  
カル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを  
受信します。  
ふつうの受信に戻すには、もう一度LOCALボタン  
を押して“LCL”表示を消します。

# 特定の放送局を登録する



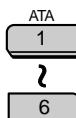
放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくと便利です。



**1** TUNER/A MEMボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



**2** SEEK/MANUボタンを押して登録する放送局を受信する。



**3** 登録したい数字ボタンを「MEMORY」が表示されるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

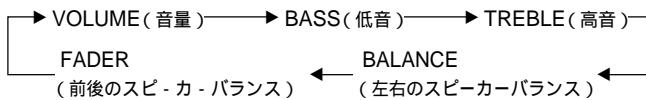
# 音質や音のバランスを調節する



BASS(低音)、TREBLE(高音)を調節できます。

**SOUND**

**1** SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。



**2** + / - ボタンを押して調節する。

3秒以内に + / - ボタンを押してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。



BASS	TREBLE	BALANCE	FADER
強まる	強まる	右へ移動	後ろ方向へ移動
弱まる	弱まる	左へ移動	前方向へ移動

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する

**SOUND**

SOUNDボタンを押しながら数字ボタン5を押す。

**5**

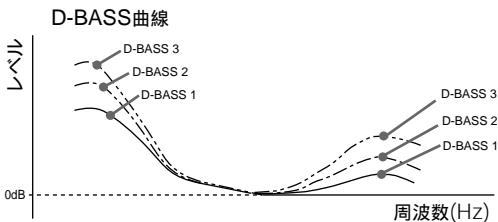
押すたびに切り換わります。

その他の操作

# 重低音を強調する



D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域と高音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



## D-BASSボタンで低音を調節する



D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える

ボタンを押すごとに

→ D-BASS1 → D-BASS2 → D-BASS3 → off(表示なし) →

と切り換わります。

数字が大きいほど低音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSボタンをOFF(表示なし)に設定してください。

ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSや音量を聞きやすいように調整してください。

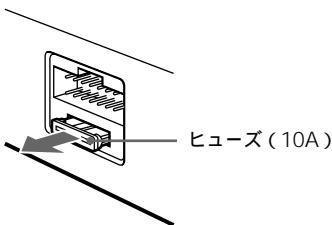
# 使用上のご注意

## 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



付  
録

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>音量を上げてください。</li><li>スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
共通	<p>メモリーの内容が消えてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>動作用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
	<p>ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。 「ピッ」という音が出ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「ピッ」という音が出ない設定になっている（15ページ）。</li></ul>
カセットトプレーヤー	<p>カセットが入らない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>カセットを正しい向きにして入れてください。</li></ul> <p>雑音が多い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。</li></ul> <p>音がこもる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ヘッドが汚れている。→ 別売りのソニークリーニングカセット（C-1KD）または市販の乾式クリーニングカセットを使ってクリーニングしてください。</li></ul>
ラジオ	<p>受信できない、雑音しか出ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li><li>カーアンテナとの接続を確認してください。</li><li>オートアンテナが上がっていない。→ パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li><li>周波数を確認してください。</li></ul> <p>SEEK/MANUボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「LCL」の設定になっている。 → LCL表示を消してください（13ページ）。</li><li>電波が弱くて自動選局できない。→ SEEK/MANUボタンを押し続けて周波数を合わせてください。</li></ul>

# 保証書とアフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

## 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

付  
録

# 主な仕様

## カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフッター	0.13% (WRMS)以下
周波数特性	30~18,000Hz
再生SN比 (JIS A)	58dB
<b>チューナー部</b>	
<b>FM</b>	
受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30~15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択性	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ) 68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.7% (ステレオ) 0.4% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)

## AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	45W×4 (4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音: ±8dB (100Hz) 高音: ±8dB (10kHz)
出力端子	アンテナコントロール
本体寸法	約188×58×177mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約182×53×163mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	クリーニングカセット C-1KD

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

# 索引

## あ行

音量 10

## か行

高音 15、16

## さ行

ステレオ放送 13

## た、な行

低音 15、16

D-BASS 16

### 登録

自動登録 8

ラジオ局 8、14

電源 13

時計 7

## は、ま、や行

バランス 15

ヒューズ 17

### 表示窓

テープ 11

ラジオ 13

フェーダー 15

ボタンの音 15

## ら、わ行

ラジオ 12

自動選局 13

登録 14

付  
録





ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル…………… 0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax…………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

---

Sony  online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。